

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 新たな文化創造・文化活動の推進

施策コード 020303

1. 施策の担当	
主管課	市長公室 政策推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 歴史・文化を大切に、ひとを豊かに育むまちづくり（教育・文化）	第3節 歴史・文化
	施策	新たな文化創造・文化活動の推進	

基本方針

・あらゆる世代の人が、文化に触れ合う機会づくりができるよう、市民参加型事業をはじめ、多様な文化振興事業の充実を図ります。

・文化会館の管理運営は、最小の経費で最大の効果が発揮できるように努めるとともに、使用料のあり方等について検討し、利用者の増加に努めます。

・利用者ニーズに合った施設の改修整備等を効率的及び計画的に行い、施設の利用環境を整備するとともに、利用者の利便性の向上を図ります。

現況と課題

・文化会館は、特色のある市民参加型事業や新たな人材を発掘する事業等が積極的に展開されており、自主事業の収支比率も近隣施設と比較すると良好です。

・また社会の多様化に伴い、心豊かな生活が求められる中で、地域文化の振興を図るためには、あらゆる世代が気軽に施設を利用できる仕組みが必要になっています。

・文化会館は、開館して20年近く経過しており、市民が安全で安心して利用できる施設を維持していくためには、施設の改修が必要となっています。

施策目標

対象（誰を、何を、どこを）

市民

意図（どのような状態にしたいのか）

歴史文化に加え、閑空をあわせもつ泉佐野市文化を発信し、都市イメージ・魅力の向上を図ります。空港、りんくうタウン、文化会館を文化拠点として、活用・連携を推進します。

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			50.9				
重要度（偏差値）			40.5				

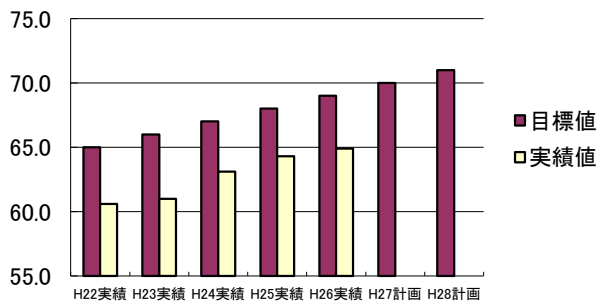
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H25決算	H26決算					
コストの内訳	人件費	千円	8,383	8,617				
	事業費		206,551	209,545				
	フルコスト		214,934	218,162				
財源内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金							
	市債							
	その他		120	115				
	一般財源1（＝フルコストー特定財源）		214,814	218,047				
一般財源2（＝直接事業費ー特定財源）	206,431	209,430						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		文化会館の貸館利用率					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0
実績値	60.6	61.0	63.1	64.3	64.9		
達成度	93.23	92.42	94.17	94.55	94.05		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民の文化拠点施設である文化会館の貸館利用率を把握することにより、市民の文化活動が向上しているかどうかの目安となる。		年間1%の伸びを目標とする。		平成25年度貸館利用率64.3%、平成26年度64.9%となり、0.6%増となった。貸館別にみると、マルチスペース（86.1→92.5、6.4%）、レセプションホール（69.2→73.1、3.9%）、和室35.5→51.1、15.6%）などは対前年度利用率が上昇した。一方で、大ホール（37.1→32.7、△4.4%）、特別会議室（35.2→29.6、△5.6%）などは対前年度利用率は減少した。			

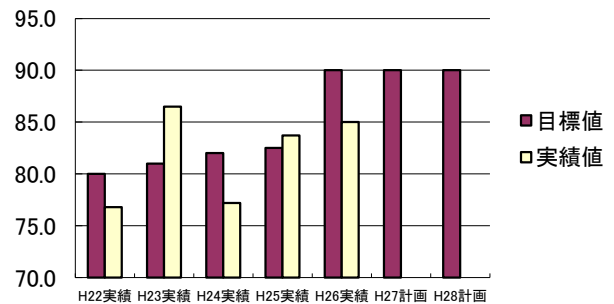
② 成果指標 2		文化会館の利用に関する満足度					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	80.0	81.0	82.0	82.5	90.0	90.0	90.0
実績値	76.8	86.5	77.2	83.7	85.0		
達成度	96.0	106.79	94.14	101.45	94.44		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
文化会館の利用に関する満足度の向上により、施設全般のハード・ソフト面において利用者が満足されていることがわかる。また、今後の施設改善をしていくための検討材料となる。		平成21年実績で文化会館の利用に関する満足度78.8%となり、単年度達成率が123.12%となったため、平成22年度より目標値の設定をより高いレベルで見直し。さらに、平成26年度から毎年度90%を目標設定とし、貸館利用者の満足向上を目指す。		貸館利用者満足度について、満足と答えた方は85.0%となり、対前年比で1.3ポイント上昇した。また、やや満足16.3%、やや不満・不満0.0%の結果となった。また、スタッフの言葉づかいの満足度は83.5%、応接態度の満足度85.9%、説明方法の満足度83.5%となりいずれも上昇した。			

③ 成果指標 3		文化会館の自主事業に対する満足度					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	61.8	62.2	62.6	63.0	100.0	100.0	100.0
実績値	60.5	63.9	60.3	59.8	97.2		
達成度	97.89	102.73	96.32	94.92	97.2		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
自主事業の満足度を把握することにより、文化振興事業における市民ニーズ等の動向が把握ができるとともに今後の事業手法の検討材料にもなります。		自主事業に対する満足度については、大変良い・良い・普通・良くないの区分で把握。平成25年度までは大変良いの区分を実績値としていたが、平成26年度からは大変良いに加え良いの区分も実績値とし、毎年度100%を目標値とする。		アンケート調査の結果、引続き多様なジャンルでの舞台芸術作品を提供すること及び芸術性にこだわらず広く市民に親しまれる企画を提供してほしいという意見が多く見受けられた。また、市民への情報提供やPRの充実を求める意見も多かった。			

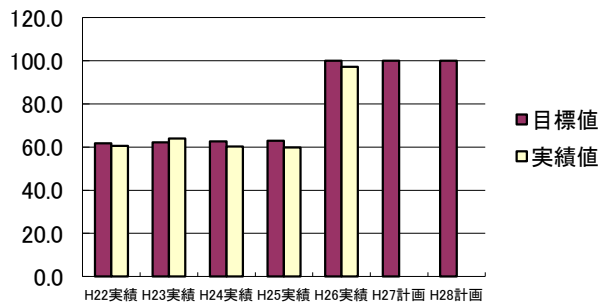
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	文化振興事業の自主事業総収支比率が46.8% (全国平均51.9%、府内平均53.4%) となった。練習室や和室に電子ピアノ、スポーツミラーを設置したり、キッズコーナーの子ども用遊具の充実をはじめ、地下入口に幼児向け動物のモニュメントを設置するなど、利用者のサービス向上に努めるとともに、自主事業では、アウトリーチ事業の充実を図った。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	館内3箇所にアンケート回収箱を設置し、その結果を貸館利用の改善に活用。また自主事業のアンケート調査については市民ニーズの把握に努め、事業選択の材料として活用している。平成21年度より友の会意見交換会を開催し、会員の生の声を把握することに努め、友の会事業の充実に役立てた。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	平成22年度より5年間財団法人泉佐野市文化振興財団が指定管理者となる。公益法人改革の中で、平成23年4月1日より一般財団法人へ移行。市の財政健全化計画とも整合性をとる。平成27年度は随意選定で一般財団法人泉佐野市文化振興財団が指定管理者となる。
	合計点	(10点中) 7点	
総合評価	B	施設使用率の実績は、昨年度比0.6%増の64.9%となった。また、利用に関する満足度(「満足」と回答)が85.0%と昨年度を上回り、自主事業に対する満足度(「大変良い」「良い」)も97.2%と高い割合となった。引き続き、これまで以上に満足度の向上に努めていく必要がある。収支は、単年度黒字となり、指定管理料の精算を行い、市への戻入があった。	
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)	B	文化会館の自主事業に対する満足度の向上に努めること。	
三次評価(理事者による評価)	B	文化会館の自主事業に対する満足度の向上に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01005450	文化会館管理運営事業	8,617	209,545	209,430	217,062	B
合計			8,617	209,545	209,430	217,062	